



## 巡礼その六十一 長崎

2023年3月29日

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の2回目として今回は長崎と熊本  
の天草を訪れる。北の平戸から南下して天草までの縦断の旅である。

6時羽田へ出発、今回はスムーズに駐車場へ。7時30分の飛行機で長崎の大村空港に9時20分到着。レンタカーで北へ向かう。今回はJALのダイナミックパッケージで何と4日間で5000円で借りられる。まずは東彼杵町キリシタン墓碑へ向かう。猫の額みたいな公園にあり見逃しそうである。今回の目的の一つはキリシタンに関係ある人々の像を見ることである。この町は原マルチノが生まれたところで波佐見町総合文化会館に原マルチノ像がある。今の季節は桜が満開でとても良い季節でドライブしていても楽しい。またこの街は陶磁器の町でもあり、至る所で生産直売している。地理的に見たらここから数十キロで焼き物の町佐賀県有田である。この街の見所に「やきもの公園」がある。丘の上に世界から12基の特徴のある窯が集まっている。とても見応えがある。この駐車場に立派な焼物センターがあり小皿（とても安い）を買う。波佐見町歴史文化交流館へ行き「石製四面線刻十字架碑」を見る。4面に十字架が刻まれ上部に「INRI」すなはちユダヤ人の王ナザレのイエスと刻まれている。ここで染付コンプラの小皿（とても高い）を購入。海岸線をどんどん北上するととても綺麗な海岸があり鄭成功の像が海を睨んでいる。ここから平戸までは鄭成功のモニュメントや関連施設が多い。鄭成功は中国明代の軍人で平戸で生まれ清に滅ぼされようとしている明を擁護し抵抗運動を続け、台湾に渡り鄭氏政権の祖となった東洋の英雄。母は日本人。ここから平戸の生月島までいっきに走る。長崎は海側に高速道路がないので一般道で1時間半かかった。お昼は途中の西海町の道の駅「みかんどーム」で佐世保チーズバーガーを食べ、生みかんジュースを自分で絞って飲む（みかん7個）。最高に美味しい。平戸島から橋を渡ると生月島でここに巨大な観音像（魚籃観音）があり町を見下ろしている。生月島は16世紀末にはほぼ全島民がキリシタンとなったが、その後の禁教令により島を離れたり殉教したり、また多くの島民が隠れキリシタンとして密かに先祖から受け継い

だ信仰を維持する道を選んだ歴史のあるところである。キリシタン・ガスパル西玄可が慶長 14 年に殉教した場所へ行くが迷う。畑の奥にあり十字架が立っている。ここから世界遺産の中江ノ島がよく見える。鉄川与助の山田教会は中に入れなかった。満開の桜の下に聖トマス西の列聖記念碑が建っている。生月町博物館・島の館へ行く。この町はクジラの島でもあり、ここでクジラの知識と隠れキリシタンの歴史がわかる素晴らしい博物館である。圧巻は昭和初期の隠れキリシタンの住まいを復元したもので当時の様子がよくわかります。ほとんどが本物でオラショが聞こえてきそうである。島の館は海の中のシオラマが圧巻でこれを見るだけでも来る価値がある。世界遺産の春日の集落へ行く。ここは棚田が有名である。春日集落の人々は一斉にキリスト教に改宗したそうで、他から人が入ってきていない。聖山安満岳と棚田を見ながら平戸の町へ行く。港の交流広場に車を止めて歴史の道を歩いて松浦史料博物館へ行く。歴史の道には平戸の重要人物の銅像が並んでいる。その後平戸オランダ商館、フランシスコ・ザビエル記念碑、平戸ザビエル記念教会へ行き、雄香寺「赤堂」を見て本日の見学は終了。今夜の宿隣の松浦にある松浦シティホテルに向かう。このビジネスホテルを選んだ理由は松浦はアジフライの聖地であること、夕食にアジフライ定食が出ること、安いこと、ラジウム泉大浴場があるなどである。夕食のアジフライ定食は最高であった。また別注でアジの刺身を頼んだら食べ終わったアジの骨を唐揚げにしてくれた。お風呂に入ってすぐに寝る。

3月30日

7時にアジの干物の朝食を食べ平戸に戻り平戸市切支丹資料館へ行く。根獅子の浜のすぐ近くにあり、とても資料が豊富である。すぐ後ろの森(ウシワキの森)ではキリシタン一家5人の殉教があった。根獅子の浜は美しい海岸で丘の上にはマリア像が立っている。その後、宝亀教会堂と鉄川与助の紐差教会を見学する。もう一つ鉄川与助の田平天主堂を見学する。ここで外国人30人ぐらいの団体に会う。外海に向かう途中、楠本端山旧宅と楠本端山の墓(儒教様式)を見る。西海市西海町中浦はとても小さい漁村でここに中浦ジュリアン記念公園があり、ジュリアン像が立っている。その下は資料展示室になっており、素晴らしい本田寿光市の壁画がある。この誕生の地に立ってジュリアン像と海を眺めると熱いものが込み上げてくる。外目に入りますは大野教会である。一番見たかった教会で駐車場からかなりきつい坂を登る。ド・ロ神父が作ったシンプルで素晴らしい教会堂である。バスチャン屋敷跡は日本人伝道師バスチャンが役人に見つからないように隠れた山の中の家で、すぐ横を水が流れ、狭い家の中にはかまどもある。山を下りると出津の集落で同じくド・ロ神父が建てた出津教会、ド・ロ記念館、旧出津救助院がある。旧出津救助院はドロ神父が村人のために建てた授産福祉施設で織物やマカロニなどの工場も作った。外海歴史民俗資料館、外海潜伏キ

リシタン文化資料館も見学し、村人がオラショを唱えた山の中のキリシタン神社（枯松神社）、黒崎教会堂へ行く。長崎に向かう。長崎の街に入る前に長崎湾の先端にある神の島教会へ行く。だいぶ夕暮れが迫ってきた。この教会にある西兄弟の墓が目的である。ここからの眺めが素晴らしい。岬のマリア像も美しい。本日の宿 JAL ホテル長崎は街の中心の中華街にある。長崎の街は市電が走っていて慣れていないので右折するのが大変である。軌道敷内に入ってしまい電車で警笛を鳴らされた。駐車場に止めるのにホテルと一悶着してチェックインする。すぐに夕食を食べに中華街へ行くが、店は半分以上しまっている。その中ですぐに入れた王鶴という店でチャンポン、皿うどん、鳥の唐揚げ、トンポーローを食べる。万頭に挟んで食べるトンポーローは絶品である。隣のテーブルの華奢な女子二人はチャンポン2つ、チャーハン、チャーシュー、シュウマイ、餃子がテーブルに乗っている。幾ら何でも頼みすぎだと見ていたら、完食した。恐ろしい。ホテルに戻り、9時半に消灯。

3月31日

朝食は6時半なのでピッタリにいったらもうテーブルの8割は食事中であった。まずは浦上天主堂から見学。コインパーキングに止める。以前も来たが被爆した像が痛々しい。長崎の原爆はこの真上で爆発した。そのため教会は破壊されたが、すぐに再建された。なぜ再建したのか、広島のようにそのまま過去の傷跡として残しておくべきでは無かったのか。そのように考えた市民はたくさんいたと思う。しかし県はすぐに再建してしまった。そこにはアメリカの影響があることは間違いない。広島はできたのに、なぜ長崎ではできなかったのか謎である。もしそのまま残っていたら単独で世界遺産になっていたと思う。次に日本二十六聖人殉教記念碑へ行くが駐車場にチェーンがかかってまだ開いていない。時間になり駐車して日本二十六聖人殉教記念碑を見学。素晴らしい。全員が無言で神の素晴らしさを訴えている。制作した舟越保武についてはまた別の機会に。すぐ後ろの日本二十六聖人記念館に入る。全て素晴らしいがこの目玉はザビエルと中浦ジュリアンの自筆書簡と「雪のサンタマリア」と言われる長崎で描かれたと言われる南蛮画である。聖パウロ三木の木像も素晴らしい。もちろん舟越保武の高山右近も。市内の中町教会には長崎十六聖人殉教者像がある。ここから島原まではロングドライブである。途中面白いものは何もない。島原に着いたらまずカトリック島原教会の中浦ジュリアン像を見に行く。この像は晩年のジュリアンである。この教会はとても興味深い。入り口にはイグナチオ内堀とマグダレナ林田像が掲げられている。敷地内にはイエスが磔になり亡くなるまでの11枚のレリーフがある。ルイス・アルメイダの像もある。島原は湧水の町でもあり街には井戸がたくさんあり、ここで野菜を洗ったり、洗濯したりしていた。住宅街の側溝には鯉が泳いでいるし、湧

水庭園もある。そのほか殉教地やセミナリオ跡を見て原城へ行く。車では中に入れないので駐車場に止めて15分歩く。ここも桜が満開で気持ちが良い。いわゆる島原の乱の舞台で、ここで37000人が死亡したと言われている。一通り見て有馬キリシタン遺産記念館へ行く。フェリーの時間があったので南蛮船来航の地と金比羅神社へ行く。フェリーに乗り天草まで30分。残念ながらイルカは見られなかった。ここから今日の宿「五足のくつ」まで40分かかる。途中、富岡キリシタン供養碑に寄り、海岸線を走る。「五足のくつ」は下田の鬼海ヶ浦から山に入ったところにある。途中オーナーがベンツで待って案内する。入り口の石の門には素晴らしいアコウの木が生えている。狛犬を抜けて石畳道を登っていくと右側に食堂棟がある。さらに橋を渡り竹林を抜けるとフロント棟がある。ここでチェックインしてオーナーと石の話、木の話をする。趣味が一緒である。部屋は離れになっていて2階建である。すぐに露天風呂に入る。温度がとても良い。夕食は食堂棟に行く。中は全部個室で修道院風の作りでグレゴリオ聖歌がBGMで流れている。食事は海の幸が中心で全て美味しい。部屋に戻りまた風呂に入り寝る。

4月1日

露天風呂に入り日記を書く。8時鮎のみりん干しの朝食。食後すぐに出発。崎津教会には9時30分に予約してあるので先に鉄川与助の大江教会と天草口ザリオ館を見る。崎津教会も鉄川与助の作品で小さな湾に建っている。内部は畳敷きである。雰囲気は五島の教会に似ている。すぐそばに諏訪神社があり桜が満開である。ここにはキリシタンもお参りに来たそう。鳥居越しに教会の塔が見える。加津佐・天草のコレジヨ跡は川の堤にあり桜が満開である。川の合流地点にあり、ここで遣欧使節の4人が学んだと思うととても感慨深い。天草の市街の丘の上にある天草キリシタン館へ行く。周りは公園になっており、桜が満開なので大勢の花見客で賑わう。熊本県で使えるクーポン券があるので近くで使える店を探したら、陶芸ショップがありそこへ行って皿を買う。鬼池フェリー乗り場に行き島原の口之津港へ。ここで美味しそうなおにぎり弁当を買う。雲仙の千々石総合支所横にある千々和ミゲル像を見に行く。ここから大村の飛行場を目指す。車の中で弁当を食べる。最後は飛行場のすぐそばにある天正遣欧使節像を見て、ガソリンを入れてレンタカーを返す。ここで妻がレンタカーの中に携帯を忘れ、届けてもらう。16時35分の飛行機で羽田へ。